

2024年3月14日
TOPPAN 株式会社**TOPPAN、「メタパ®」の OEM 版「Powered by Metapa」の提供開始**
第 1 弾として野村不動産のメタバース「PROUD METAVERSE SALON」を提供開始

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、複数のバーチャル店舗を集約した「メタパ®」を、2021 年 12 月より提供しています。このたび、「メタパ®」をベースに、企業独自のメタバースとして利用できる OEM 版「Powered by Metapa」を 2024 年 3 月 14 日より開始します。

これまで「メタパ®」は定型の機能のみしか実装できませんでしたが、本サービスを活用することで、企業の要望に合わせた機能を実装し、独自のメタバースとして公開できます。

なお、本サービス採用の第一弾として、野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:松尾 大作、以下 野村不動産)のメタバース「PROUD METAVERSE SALON」が 2024 年 3 月 14 日よりオープンします。



野村不動産「PROUD METAVERSE SALON」のイメージ

■ 開発の背景

「メタパ®」は、出店企業が集まるバーチャルモールサービスとして展開しています。しかし、オリジナル機能や企業が使用している既存のツールとの連携など独自機能の実装ができませんでした。一方、企業が独自で一からメタバースを作るには、研究開発への投資や、運用ノウハウがかかってしまうことが課題となっています。

このような中で TOPPAN は、「メタパ®」をベースに、企業独自のメタバースとして利用できる OEM 版「Powered by Metapa」の提供を開始。独自機能の実装はもちろん、「メタパ®」の仕組みをベースにするため、安価で手軽にメタバースを構築することができます。

■ OEM 版の特長

1. 手軽に独自メタバースを構築

「メタパ®」の基本機能をベースにするため、企業がオリジナルでメタバースを構築する場合に比べ、安価で手軽に構築可能です。

項目	「メタパ®」	「Powered by Metapa」
オリジナル機能の実装	×	○
既存ツールの連携	×	○ (チャットボット、MA ツール等)
会員 DB 連携	×	○ 企業独自 DB と接続可能
デザイン	「メタパ®」に合わせた空間表現	企業独自の空間表現 (フォトリアル、アニメ調等)
アクセス方法	「メタパ®」のロビー、「メタパーク®」	企業空間へダイレクトアクセス

2. 企業が活用しているツールを連携

希望する企業は、チャットボットや通話のようなオリジナル機能を実装したり、企業が既に利用している会員データベースやマーケティングオートメーションツールなどと接続したりすることが可能です。これによって、企業の目的に合わせたメタバース運用が可能になります。また、デザイン性も企業独自の意匠を凝らして製作することができるため、企業のブランドイメージを損なわずメタバース導入が可能です。

3. ログデータの収集

「メタパ®」と同様に、アクセス数や商品/POP 閲覧数、サイト遷移数のデータを収集でき、メタバース公開後のコンテンツ更新やイベントの効果測定に活用することが可能です。また「メタパ®」と異なり、単独店舗型で構築されるため、店舗回遊などを除いた、より正確なデータ分析が可能になります。

■ 価格

初期費用 2,000 万円～、月額費用 30 万円～

■ 今後の目標

TOPPAN は、製造、小売、不動産、教育業界などに向けて本サービスを展開し、2026 年までに関連受注含め約 10 億円の売上を目指します。

■ 「PROUD METAVERSE SALON」について

「PROUD METAVERSE SALON」は、お客さまのプライバシーを守りながら、スタッフとコミュニケーションを取れる機能が実装されています。また、野村不動産のマンションブランドである「プラウド」の CM の舞台となった部屋や、野村不動産グループ全体のサステナビリティの取り組みを体感できる空間など、様々なコンテンツが用意されています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上